

第四十二回 一宮支部学生書道展

会期

平成二十五年十一月二十三日（土）～二十四日（日）

会場

一宮スポーツ文化センター

総出品

四，〇一一点

会場は出品者やご家族で賑わい、充実した「目の勉強」「親子のふ
れあい」の場となりました。

また、思い思いの文字や言葉を書き込む、「新年カレンダー作りイ
ベント」も好評でした。

第41回 学生書道展

教育部長 三輪田 香苑

▼会期 平成二十四年十一月二十四日(土)～二十五日(日)
▼会場 一宮スポート文化センター

本年度も一宮市芸術祭に協賛し、支部展と併催、盛況裡に終了することが出来ました。

支部長則武穹先生をはじめ役員諸先生、出品の諸先生、御協賛賜りました。関係各位の皆々様に紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、恒例となりました「イベント」は、生徒が自分の先生の作品の、

最初の一文字を書くとい

う“クイズ”です。クイズ用紙を手にして、広い会場で、熱心に探す親子の姿も、微笑ましく感じました。用紙を”ポスト”へ。(筆型ポストがユニークで大好評でした) 次に、お楽しみ”己年”“カレンダー”的文字書きに挑戦です。

色彩豊かに、家族、親子が一つになつて”絆”が垣間見え微笑ましい光景が、沢山見受けられました。“書”が少し変化? 楽しい書となりつつあります。来年度がとても楽しみです。

「賞状賞品引換所」におきましても、賞状賞品をお渡しの折、各部の先生全員で、拍手を…。生

「夢」「花」「へび」等々、その中で「宇宙」と書いた生徒さんに、思わず声をかけました。返事は、宇宙に行ってみたいとのこと、きっと、この一宮から世界の大空へ宇宙飛行士が誕生することでしょう。

徒さんの満面の笑顔がとても印象的でした。
今後の支部学生展の発展と御協力を願いつつ、心より御礼申し上げます。



総出品数

個人賞
特選
金賞

三、八〇九点
一、五九二点
一、五〇六点
七一点
一、一七一点

展示数

第40回 学生書道展

教育部長 三輪田 香苑

▼会期 平成二十三年十一月二十六日(土)～二十七日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター 二階

第四十回学生書道展(支部展併催)は、一宮市芸術祭参加事業の一環として開催されました。

今回は、四十回展の為、記念賞を設け展示作品を大幅アップしました。(記念賞三九一点)

恒例となりましたイベントは、児童・生徒が教室の先生の作品を探し、最初の一文字を書く「ク

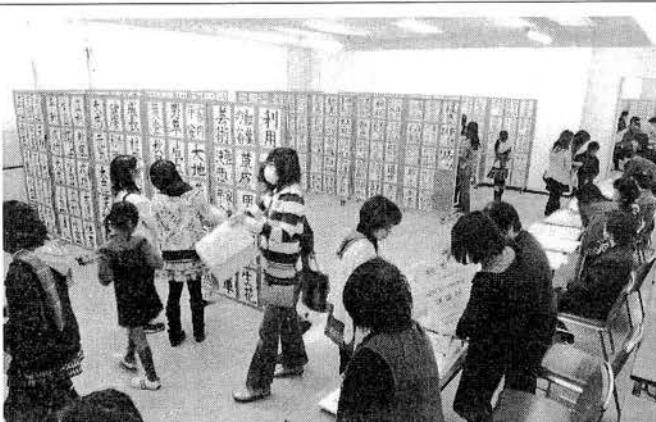
イズ」。次に、辰年「カレンダー作り」色彩豊かに世界に一つしかありません。

二つのイベントに接し、家族、親子が一つになり楽しんでいただけたと思います。ある書誌の中の「子供は父母の行為を映写する鏡」という言葉をふと思い出しました。因みに今年の漢字は“絆”で

した。
無事終了出来ましたのも企画から展示までご協力戴きました、役員諸先生、ご出品の諸先生等々ご支援の賜と感謝申し上げます。

最後に、お忙しい中、生、振先生のご来場有難うございました。

本部より副理事長関根玉振先生のご来場有難うございました。



第四十回展

	総出品数	特別出品	個人賞	特選	金賞	展示作品	入場者数
	三、七五六点	五五点	一、六九九点	一、四八九点	五一三点	一、三三二点	一、五四七名

第39回(社)中部日本書道会一宮支部

学生書道展

支部次長 川浦碧濤

▼会期 平成二十二年十一月二十日(土)～二十一日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター 二階

一宮市芸術祭参加事業の一環として今回も支部展と併催にて盛大のうちに終了することが出来ました。

ご出品の多くの子供達の喜ぶ姿が見たいと、まことに喜びます。

長始め部長会メンバーの忌憚の無いご意見により、良い物に廻り会えたと思っております。教室での子供達の笑顔が多く見うけられたお話を多々聞くことができました。

イベントに関しては、初めての趣向で、子供達が自分の先生の作品を探すクイズ方式にしました。

解答を提出した子がカレンダーに文字を書いて例

年よりも長い時間を会場にて楽しんでいただきました。

三十九回展

総出品数

三、八五一点

特別出品

五四点

個人賞

一、五五五点

特選

一、五二五点

金賞

七一七点

展示作品

一、一八六点

